

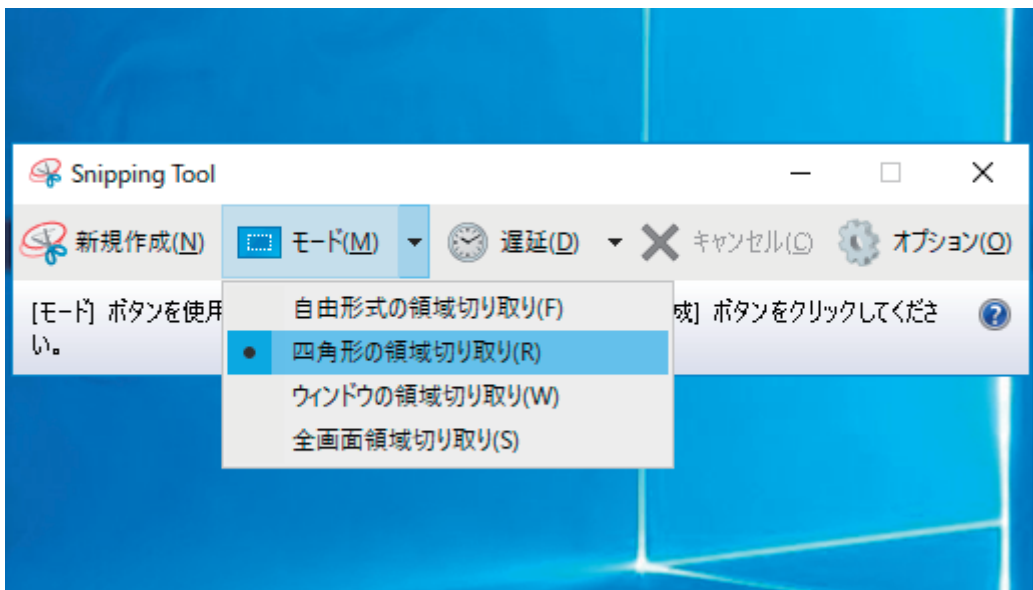
Windows

Snipping Toolを使って、切り抜く方法

Snipping Tool を開く

Windows 10 の場合	[スタート] ボタンを選択します。タスク バーの検索ボックスに「snipping tool」と入力し、結果の一覧から[Snipping Tool] を選択します。
Windows 8.1 または Windows RT 8.1 の場合	画面の右端からスワイプし、[検索] をタップします (マウスを使っている場合は、画面の右下隅をポイントし、マウス ポインターを上へ移動して [検索] をクリックします)。検索ボックスに「snipping tool」と入力し、検索結果の一覧から [Snipping Tool] を選択します。
Windows 7 の場合	[スタート] ボタンを選択します。タスク バーの検索ボックスに「snipping tool」と入力し、結果の一覧から[Snipping Tool] を選択します。

切り取り領域をキャプチャする Snipping Tool で [モード] を選択して (以前のバージョンでは、[新規作成] ボタンの横にある矢印を選択して)、切り取り領域の種類を選択し、キャプチャする画面上の領域を指定します。



メニューの切り取り領域をキャプチャする

Snipping Tool を開いた後、画像が必要なメニューを開きます (Windows 7 の場合は、メニューを開く前に Esc キーを押します)。Ctrl キーを押しながら PrtScn キーを押します。これにより、[開く] メニューを含めて、画面全体をキャプチャできます。

[モード] を選択して (以前のバージョンでは [新規作成] ボタンの横にある矢印を選択して)、切り取り領域の種類を選択し、キャプチャする画面上の領域を指定します。

切り取り領域にコメントを付ける

切り取り領域をキャプチャした後、[ペン] または [蛍光ペン] ボタンを選択することで、その切り取り領域上またはその周囲に書き込んだり描画したりできます。書き込んだ線を消すには、[消しゴム] を選択します。

切り取り領域を保存する

切り取り領域をキャプチャした後、[切り取り領域の保存] ボタンを選択します。[名前を付けて保存]ダイアログ ボックスで、ファイル名、場所、および種類を入力し、[保存] を選択します。

URL を削除する

ブラウザ ウィンドウから切り取り領域をキャプチャし、HTML ファイルとして保存すると、切り取り領域の下に URL が表示されます。URL が表示されないようにする方法: Snipping Tool で、[オプション] ボタンを選択します。[Snipping Tool オプション] ダイアログ ボックスで [切り取り領域の下に URL を追加する (HTML のみ)] チェック ボックスをオフにして、[OK] を選択します。

切り取り領域を共有する

切り取り領域のキャプチャ後、[切り取り領域の送信] ボタンの横の矢印を選択し、一覧から任意のオプションを選択します。

Snipping Tool で使用できるキーボード ショートカット

ショートカットキー	操作
Alt + M	切り取り領域モードを選ぶ
Alt + N	最後に実行したモードと同じモードで新しい切り取り領域を作成する
Shift + 方向キー	カーソルを移動して、四角形の領域切り取りの領域を選択する
Alt + D	キャプチャを 1 ~ 5 秒遅延する
Ctrl + C	切り取り領域をクリップボードにコピーする
Ctrl +	切り取り領域を保存する

Macintosh

画面の選択した部分のスクリーンショットを撮る方法

[shift + command + 4] キーを押します。ポインタが十字型に変わります。スクリーンショットの撮影範囲の始点となる位置に十字ポインタを移動し、そのままドラッグして範囲を選択します。



[shift] キー、[option] キー、またはスペースバーを押しながらドラッグすると、範囲の選択方法が変わります。

目的の範囲が選択されたら、マウスまたはトラックパッドのボタンを放します。取り消すには、ボタンを放す前に [escape (esc)] キーを押します。

スクリーンショットがデスクトップに .png ファイルとして作成されます。